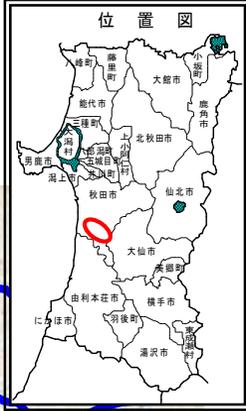
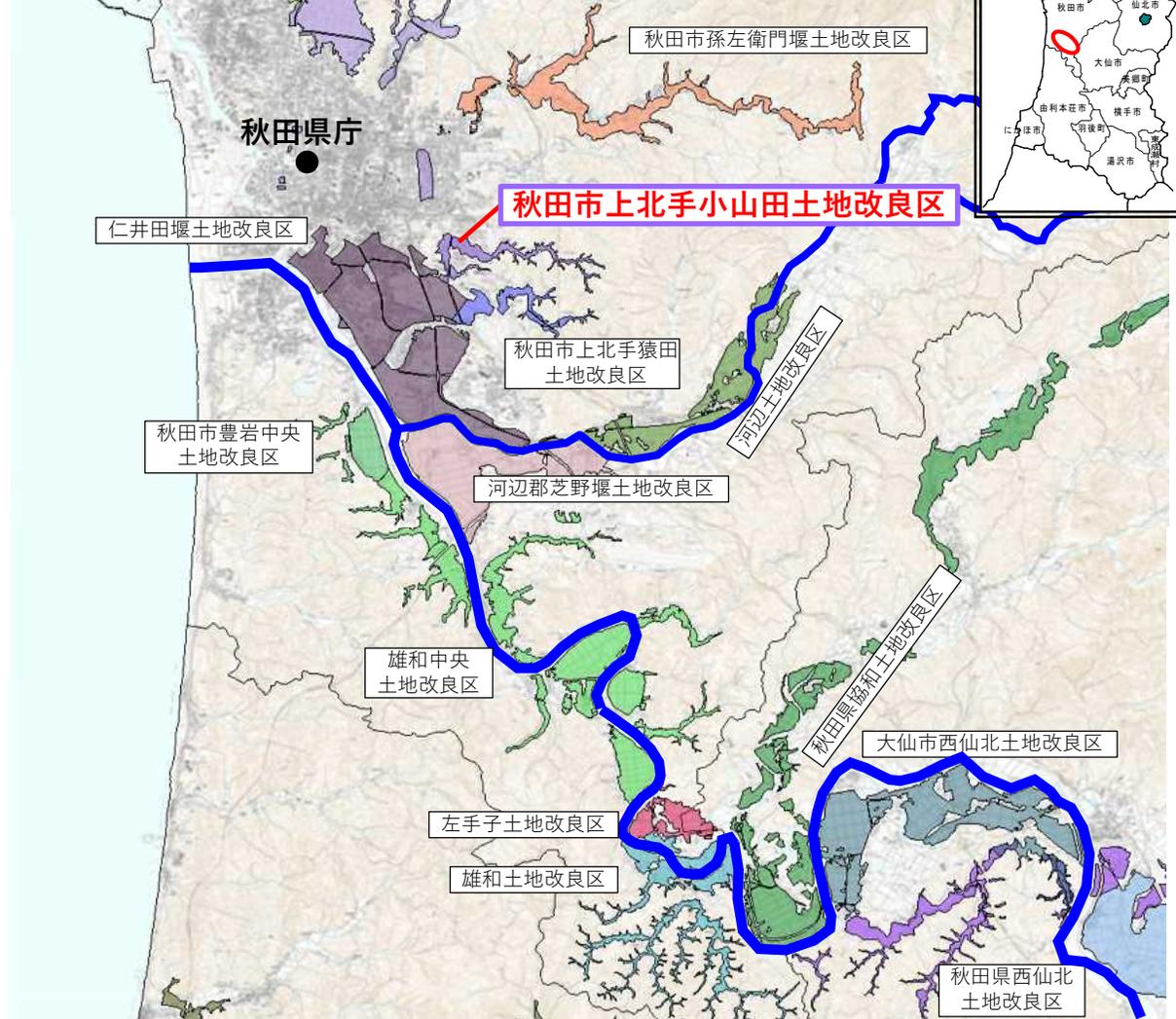


秋田市上北手小山田土地改良区

受益面積 110ha

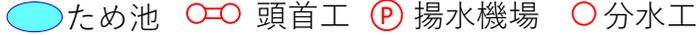
地域の概要

■ 猿田川支流の大戸川流域の農地を受益地とする土地改良区。



【内 容】

- 農業水利システム
・ 主要な取水施設
- 施設の維持保全
- ほ場整備

作 成	秋田県 農業農村整備等技術検討委員会 秋田県秋田地域振興局農村整備課
協 力	・ 秋田市上北手小山田土地改良区 ・ 秋田市 ・ 秋田県土地改良事業団体連合会
作成経緯	ver. 1.0 令和7年3月
基本凡例	  ※ 資料作成の都合上、必ずしもこれらのおりの表記となっていない場合がある
出 典	・ 秋田県水土里情報システムのレイヤを使用したものは次のとおり 地形図：「測量法に基づく国土地理院長承認（使用） R6JHs 74-GISMAP59536号」 航空写真：「© NTT InfraNet, JAXA」 衛星写真：「© NTT InfraNet, Maxar Technologies.」 ・ その他土地改良区提供資料など
備 考	本資料は、秋田県の農業を支える基盤であり、地域資源でもある農業水利施設について、土地改良区毎にその構成、歴史、維持管理等の概略を示し、土地改良区の組合員のみならず地域住民の皆様に対し広く周知するものです。 これにより、各地域の農業水利施設を保全管理することの重要性について理解を深めていただき、農業水利施設の持続的な機能発揮と秋田県の農業の発展の一助となることを目指しています。 本資料については、現地調査に加え、水土里情報システム内の資料、過去に実施した事業の資料、土地改良区からの提供資料、土地改良区からの聞き取りなどをベースに作成していることから、時点が古い情報や現状と比較し正確ではない情報が含まれていることがあります。このため、本資料を閲覧される方に置かれましては、このことを予め御了知いただくとともに、本資料を利用すること等により生じるトラブルや損害等については、秋田県ではその責任を負いかねますので、予め了承ください。

- 水源として、地区の上流側や沢部はため池からの供給、本川部分は揚水機又は頭首工からの供給が中心となっている。
- 用水は開水路により供給される供給主導型システム。



河川	施設	堤高	堤長	有効貯水量
	小山田ため池	8.3 m	69.7 m	25.0 千m ³
	畑沢ため池	5.0 m	25.0 m	1.5 千m ³
	山造沢ため池	4.0 m	30.0 m	4.5 千m ³
	日出ノ沢ため池	3.0 m	30.0 m	4.0 千m ³
	元子沢ため池	4.0 m	40.0 m	5.0 千m ³
	刈又沢ため池	- m	- m	- 千m ³
	大杉沢ため池	13.0 m	100.0 m	120.0 千m ³
	大戸ため池	2.0 m	20.0 m	2.0 千m ³
	諏訪ノ沢ため池	6.0 m	70.0 m	30.0 千m ³

主要な取水施設

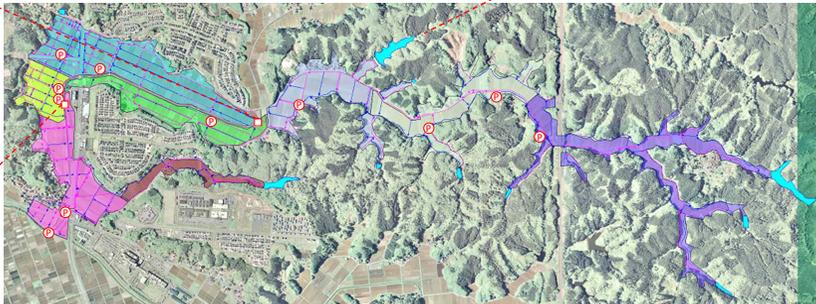
ため池・頭首工・揚水機

大戸頭首工

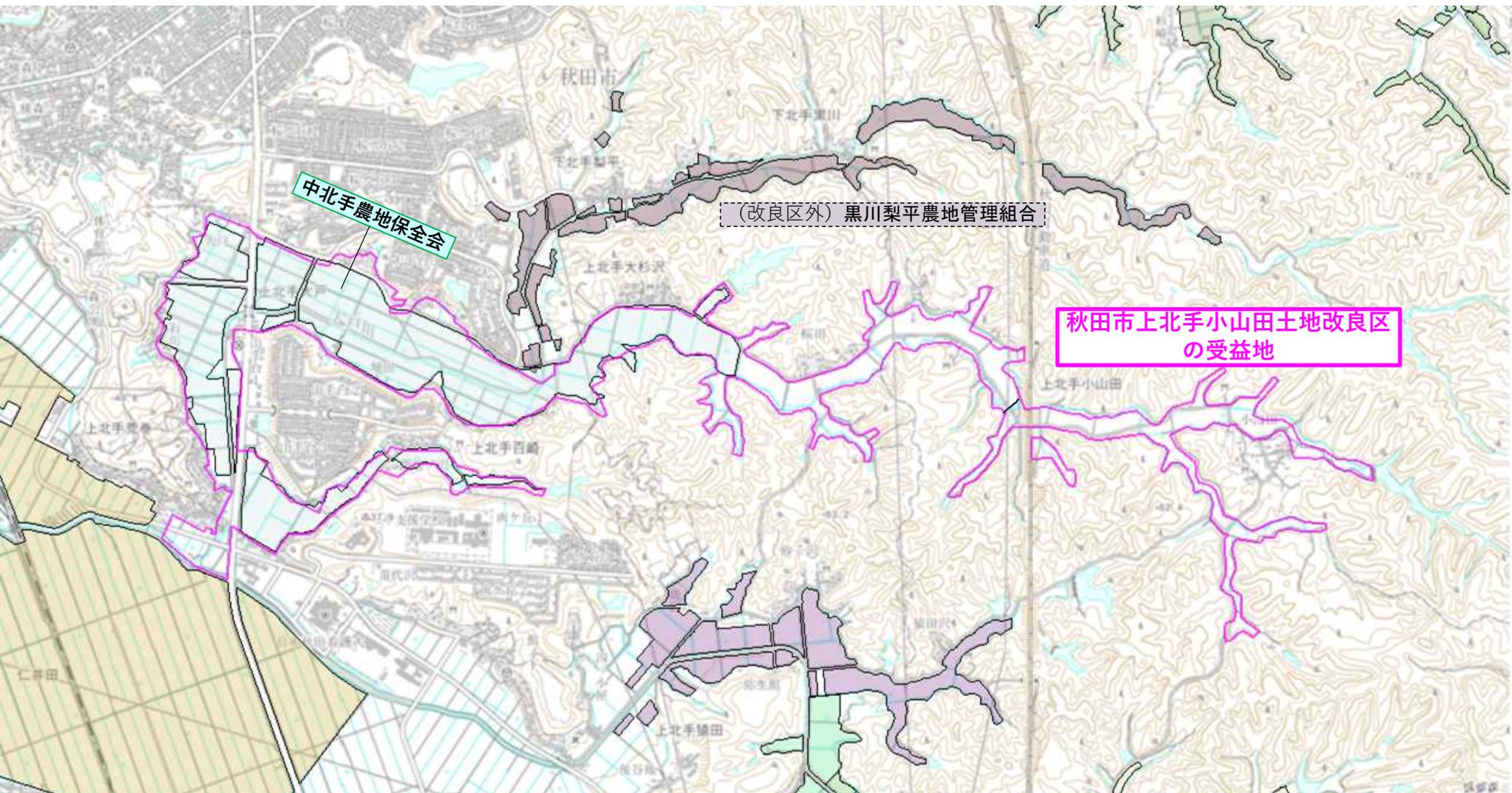


大杉沢ため池

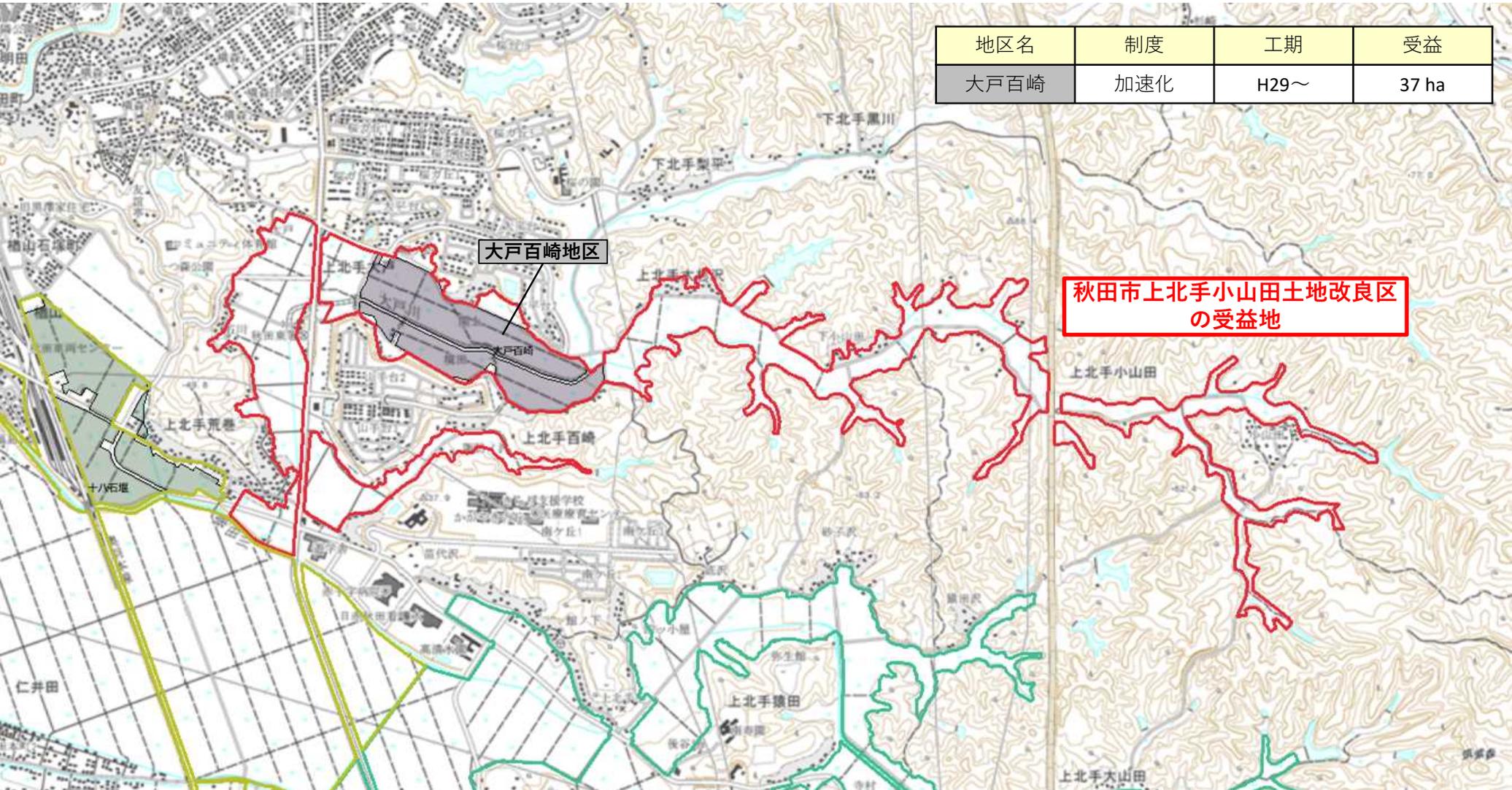
石川水門



■ 地域の下流部は「中北手農地保全会」がカバーしている。



- 現在、大戸川流域では平成29年度より大戸百先地区では場整備事業を実施。それ以外の地域は未整備区域。
- 大戸川上流の小山田川流域については未整備。



地区名	制度	工期	受益
大戸百崎	加速化	H29～	37 ha

秋田市上北手小山田土地改良区
の受益地